



「平和を実現する人々」

2022年5月



中高校長 森野 章二

平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。

(マタイによる福音書5章9節)

新しい年度が始まりました。明るい陽射しと初々しい新入生の笑顔。昨年度より大きく成長した先輩たちの凛々しい姿。平和な学園の日々。

しかし、一たび世界に目を向ければ、人間の命を塵のように扱う戦争と、その被害者の惨たらしい状況が現実そこに存在しています。生徒の皆さんには、一学期始業式でお話したことと重なる部分もありますが、今回は「平和」ということについて記してみたいと思います。

学内の各教室に掲げてある「清教学園のめざす人間像」の3つ目に「隣人と共に平和を築く」という項目があります。上記聖書の箇所にも、「**平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。**」と書かれています。

ウクライナにおける悲惨な状況が報道される度に、平和を築くことの大切さを思います。もちろん、世界平和という大きな課題について、中学生や高校生にできることは限られています。しかし、今、何が起きているのか、事態を正しく知ること、友人と語り合うこと、苦しんでいる人々のために心から祈ること、決して戦争を許さない決意を新たにすること、適切な団体を通じて援助金等を寄付すること等、できることはたくさんあると思います。ウクライナだけに限定される問題ではありませんが、各地における紛争が一日も早く収束し、困難な中にある人々、傷ついた人々に、癒しと平安が与えられるように祈ります。

私たちが築いていくべき平和には、もちろん上記のような世界規模の、大きな平和という意味もありますが、もっと身近な意味で、自分の近くにいる人たちとの平和という意味も含まれます。声高に世界平和を訴えながら、自分の家族とは良い関係が築けていない、最も近くにいる人を愛せていない、友だちと仲直りできていない、謝れない、といった状態では、平和を実現する人々とは言えないと思います。

「世界平和は家庭から始まる」という言葉を聞いたことがあります。自分の最も近くにいる人、隣にいる人と平和を築くことができなければ、世界平和なんて実現できません。作家のドストエフスキーの言葉に、「人類を愛することは簡単だ。しかし、隣人を愛することは容易ではない」という名言があります。これを少し言い換えて、「人類を愛するなんてたやすい。しかし、隣のおやじは憎たらしい。」というのもあるそうです。身近な人になるほど、平和な関係を保ち、愛し続けることが難しいのかもしれない。でも、めざす人間像は「隣人と共に平和を築く」です。まず身近な人と平和に暮らすことが

(次ページに続く)



ら、心掛けたいものです。そしてそれが、長い目で見れば世界の平和にも繋がっていくことと思います。

「あなたがたは、自分に関する限り、すべての人と平和を保ちなさい。」(ローマの信徒への手紙12章18節—新改訳聖書)

聖書の語る平和には、もう一つの意味があります。それは、神様との平和です。神様に背を向けて生きている人は、神様との平和を持っていません。神様との平和を持っていると、心に平安が与えられます。試練や困難が訪れても慌てふためかない平安が与えられます。英語では、平和も平安も同じ言葉で、peaceという単語を使います。他の人との関係が平和であれば、心にも平安が保たれるということでしょう。神様との平和を持たず、神様に背を向けて生きる姿勢(聖書はこれを「罪」と呼びます)こそが、あらゆる争いの根である、聖書はそのように教えます。

「ですから、信仰によって義と認められた私たちは、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。」
(ローマの信徒への手紙5章1節—新改訳聖書)

最後に、有名なアッシジのフランチェスコによる平和の祈りを紹介したいと思います。

主よ、わたしを平和の器とならせてください。

憎しみがあるところに愛を、 争いがあるところに赦しを、

分裂があるところに一致を、 疑いのあるところに信仰を、

誤りがあるところに真理を、 絶望があるところに希望を、

闇あるところに光を、 悲しみあるところに喜びを。

ああ、主よ、慰められるよりも慰める者としてください。

理解されるよりも理解する者に、 愛されるよりも愛する者に。

それは、わたしたちが、自ら与えることによって受け、 許すことによって赦され、

自分のからだをささげて死ぬことによって とこしえの命を得ることができるからです。

殺伐とした、争いの絶えない今の社会の中で、隣人を助けて平和を築き、身近な人たちと良い関係を保ち、心に平安をいただいて歩んで行ける一年でありますように、心からお祈りしています。

「わたしはあなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません。」(ヨハネによる福音書14章27節—新改訳聖書)